

【ITTO拠出金プロジェクト】 ベトナムにおける持続可能な木材利用促進

- **ベトナムの木材産業**は、過去20年間、輸出に依存して急速に成長。今後の経済成長により、国内市場の拡大が期待。他方、コロナ禍では、輸出依存の不安定性を露呈。
- 過去20年で**420万haの人工林を植栽**したが、短伐期のチップ材生産に留まる。人工林の経済価値向上の余地あり。
- 我が国は、2021年から、ITTOを通じて、**ベトナムにおける持続可能な木材利用拡大に向けたプロジェクトを支援**。我が国から、国内での木材利用拡大の経験を踏まえた助言を提供。

ベトナムにおける木材需給の動向

(輸出依存)

- ・ベトナムの木材産業は、**過去20年間、輸出に依存して急速に成長**。2020年の木材・木材製品輸出額は123億ドルで世界第5位。(※2020年には、合板生産量150万m³のうち148万m³を輸出。)
- ・他方、**国内の木材取引額は25～30億ドル程度で、輸出額の1/5程度**。今後の人口増加と経済成長により、近い将来に50～60億ドルに達する見込み。

(人工林経営の発展途上)

- ・ベトナムの林業・木材産業は、天然林の利用からアカシアによる人工林経営に移行、**過去20年間で420万haを再植林**。このうち300万haが木材ビジネス向け。
- ・ただし、ベトナムの農民は、**人工林を4～5年で伐採して、低価格のチップ材として販売**。人工林の経済便益と環境機能を高める余地あり。

(輸出依存は不安定化)

- ・**コロナ禍**による世界経済の停滞で、**国際的な木材市場は大きな影響**を受けた。輸出に依存するベトナムの木材産業は、不確実性が高まり、**国内における需要拡大が急務**。

【課題】

- ① 木材・木材製品の国内消費拡大に向けた政策枠組が弱い。
- ② 国内市場のニーズを満たす木材・木材製品の供給能力が不十分。

ITTOプロジェクト

【事業名】 **ベトナムにおける持続可能な木材消費の促進**

【拠出額】 339.500米ドル(約37百万円)

【実施機関】 ベトナム木材・森林製品協会(VIFOREST)

【実施期間】 24ヶ月(2021年12月開始予定)

【事業内容】

○木材消費促進のための政策枠組みの改善・整備

- 長伐期森林経営への移行戦略作成
- 国内木材消費を促進するための**関係者の組織化** 等

○木材消費促進のための実証的取組・能力向上

- 持続可能な木材としての**植林木の利用促進キャンペーン**の実施
 - 建築を専攻する**大学生向け木材建築・デザイン研修**
 - 日本のスギ・ヒノキとベトナムのアカシアを利用した**デザインコンテスト**の開催
 - バイオエネルギー利用促進のための新技術の普及
 - 自営小規模事業者と植林組合のパートナーシップ構築
 - 合法性の確保および森林法執行のための能力向上研修の実施 等
- ※上記の事業実施に当たっては、適宜、我が国から、国内での木材利用促進政策の経験を踏まえた助言を提供。